

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【公開番号】特開2008-292006(P2008-292006A)

【公開日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-048

【出願番号】特願2008-225951(P2008-225951)

【国際特許分類】

F 16 H 1/32 (2006.01)

F 16 H 57/02 (2006.01)

F 16 H 57/04 (2006.01)

【F I】

F 16 H 1/32 A

F 16 H 57/02 301D

F 16 H 57/04 E

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内周に内歯が形成された外側ケースと、外側ケース内に収納され、外周に前記内歯に噛み合い歯数が該内歯より若干少ない外歯を有するとともに、軸方向に並列配置された複数のピニオンと、中央部がピニオンに挿入され、回転することでピニオンを偏心回転させるクランク軸と、前記外側ケースに挿入され、前記クランク軸の両端部を回転可能に支持するキャリアと、駆動モータの出力軸の回転を減速して前記クランク軸に伝達する前段減速機とを備え、前記キャリアは、基台部と、前記基台部から軸方向に延びるとともに、前記ピニオンを貫通する周方向に離れた柱部と、該柱部に締結された端板部とを有する偏心運動型減速機であつて、

前記基台部の一部を外側ケースから突出させて、この突出した基台部に減速された回転を伝達する伝達歯車を固定するとともに、外側ケースから突出した基台部を外側ケースに挿入されている基台部と一体形成したことを特徴とする偏心運動型減速機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

このような目的は、内周に内歯が形成された外側ケースと、外側ケース内に収納され、外周に前記内歯に噛み合い歯数が該内歯より若干少ない外歯を有するとともに、軸方向に並列配置された複数のピニオンと、中央部がピニオンに挿入され、回転することでピニオンを偏心回転させるクランク軸と、前記外側ケースに挿入され、前記クランク軸の両端部を回転可能に支持するキャリアと、駆動モータの出力軸の回転を減速して前記クランク軸に伝達する前段減速機とを備え、前記キャリアは、基台部と、前記基台部から軸方向に延びるとともに、前記ピニオンを貫通する周方向に離れた柱部と、該柱部に締結された端板

部とを有する偏心揺動型減速機であって、前記基台部の一部を外側ケースから突出させて、この突出した基台部に減速された回転を伝達する伝達歯車を固定するとともに、外側ケースから突出した基台部を外側ケースに挿入されている基台部と一体形成することにより達成することができる。